



【表紙の写真】 新庁舎議場

目次

決算審議	2
定例会概要	8
総括意見書	10
一般質問	11
委員会活動	16
トピックス	18

みぶ ぎがし

No. **206**
2023

R5 9月定例会

9月 定例会

令和5年第4回定例会は9月1日から9月19日までの19日間の会期で開催されました。

町長から提出された21議案が上程され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

一般会計決算

歳入

177億315万5,612円

歳出

169億4,289万6,282円

特別会計決算

歳入

84億2,405万5,848円

歳出

80億1,116万6,951円

令和4年度決算を認定
新庁舎開庁。大規模商業施設
オープン。進化する『壬生町』

令和4年度はこのような事業に 予算が執行されました (抜粋)



※1万円未満切り捨て

町長は、翌年度の予算を決める3月定例会までに、前年度の決算について議会の認定を受けなければなりません。皆様の納めた税金が適正に使われたかどうか、3つの常任委員会が審査しました。

新庁舎建設事業

8,679万円



子育て世帯食事サポート 事業

2,894万円



学校給食費緊急支援事業

858万円



清掃センター基幹的 設備改良事業

12億444万円



安塚・上長田地区 圃場整備推進事業

1,051万円



栃木国体開催事業

4億6,974万円



コミュニティバス 実証運行事業

983万円



壬生お殿様料理 促進事業補助金

120万円



商品券発行事業補助金

5,314万円



令和4年度決算を審査しました!

令和4年度各会計決算について、「税金が適正に使われたか、本当に必要な事業なのか」各常任委員会は9月4日から14日まで慎重に審査を行い、各常任委員長が本会議で報告をしました。ここでは、各常任委員会が出された質疑の一部を抜粋、要約しています。

総務常任委員会



赤羽根委員長

委員長 赤羽根 信行
副委員長 鈴木 理夫
委員 大島 菊夫
" 小牧 敦子
" 中川 和典
" 榎井 将太

「コミュニティバスみぶーぶ」の利用状況は。



鈴木副委員長

答 利用者が低迷しており改善していかなくてはならないと認識しています。現在、ルートの見直しを含めて検討しているところです。

東京サテライトオフィスの利用状況は。



大島委員

答 企業との交流や意見交換をしていく中でマッチングを進めています。

六美町北部土地区画整理事業で、大規模商業施設が入ったことで、収収はどのくらいになっているのか。



小牧委員

答 固定資産税につきましては、六美の区画整理エリア全体で、令和3年度に比べて約1千8百万円税額が増えている状況です。

軽自動車税賦課事務費の軽自ワンストップ導入費とワンストップ利用料とはどういうものなのか。



中川委員

答 新車を購入した際にインターネットを通じて手続きができる制度で、車検を受けるときに領収書や納税証明書なしで自動で確認できるようにする為の導入費と、町で使用しているシステムの使用料です。

旧庁舎解体事業費の積算設計費が1千万円と多額であるが、設計の他に経費としては何があるのか。



榎井委員

委員会での主な意見

- ◎コミュニティバスみぶーぶの利用を促進するように、ルートの見直し等を含めて検討していただきたい。
- ◎収税率向上のために、口座振替キャンペーンを継続していただきたい。

答 アスベストが入っている可能性が高いということで、検査でかなりの検体を取ったため費用がかかりました。

教育民生常任委員会



後藤委員長

委員長 後藤 節子
副委員長 大山 博
委員 坂田 昇一
遠藤 恭子
田部 明男

新規に英語検定の助成が始まりましたが、受験者数と成果は。



坂田委員

答 10月と1月に実施し、2級から3級まで192人が受験し109人が二次試験に合格しました。

子ども医療費の助成が高校3年生までに拡大したが、効果は。



遠藤委員

答 助成人数が905人、助成件数が7,562件増えており、1人平均8・3件で17,292円位の受診料となり、効果はかなりあったと思います。

特定健康診査の受診率向上への取り組みは。

答 午後の集団健診を導入しました。今年度は夜間の集団健診も実施します。また、特定健診の受診券を事前に対象者全員に送付することで個別健診を受け易くしました。

藤井の前方後円墳は、何かの事業のために発掘調査をしたのか。



大山副委員長

答 地権者の方から利活用申請があり試掘調査をした結果、未盗掘で重要なものと判明したので、今後については、今協議しています。

ゆうがおマラソン大会で751人が完走されたが、町への波及効果は。



田部委員

答 壬生町を知っていただけの効果と大会参加を楽しむに練習することで健康作りに役立つ側面があり、今後大会を継続し健康づくりとスポーツ振興の推進をしていきます。

委員会での主な意見

- ◎婚活推進事業で、とちぎ結婚支援センターへの入会登録料が2年間で1万円なので、婚活者が登録しやすいように助成を進めていただきたい。
- ◎ふれあいプールの維持管理費の支出を早めに食い止めるために、跡地について期日を決めて結論を出すように取り組んでいただきたい。

建設経済常任委員会



戸崎委員長

委員長	戸崎	泰秀
副委員長	田村	正敏
委員	落合	誠記
〃	玉田	秀夫
〃	小川	律男

みぶブランドの価値を高めるために、事業者等や商品等の精査はおこなっているのか。



田村副委員長

答 現在は、認定品を増やすことに重点を置いており、ユーザーの評価を通じた競争の中で、事業者側の努力

で価値が高まっていくと考えています。

下水道事業会計の国庫補助金が大幅に増加している理由は。

答 管渠調査の件数を増やしたためです。緊急度区分で一番悪い状態のものはないため、すぐの更新は不要です。

重要物流道路改良事業の実施状況は。



落合委員

答 おもちゃのまち地内の改良をしました。全体約7kmのうち、残りは2kmで、あと4〜5年で完了できる見込みです。

放置自転車対策事業の効果は。

答 事業開始の平成24年度に300台あった撤去自転車が、令和4年度は31台に減っています。

新規就農者支援事業の内容は。



玉田委員

答 農業次世代人材投資資金として、1人150万円を上限に3名に交付しました。また、経営開始資金として、完全に就農された方に150万円を上限に3名に交付しました。

耕作放棄地の雑草等の管理方法は。

答 農業委員会事務局から所有者宛に適正管理の依頼を文書にて通知しています。

自治会デジタル化推進事業の状況は。



小川委員

委員会での主な意見

- ◎側溝や横断側溝の維持点検において、GISの整備をしっかりと進めていただきたい。
- ◎道の駅みぶの活性化事業について、関係各所と連携しながらよりよい施設となるように取り組んでいただきたい。

答 虹の杜自治会で紙媒体と並行して進めています。パソコン操作の手間を省くアプリを導入しており、不具合の修正や業務の最適化を進めています。

決算認定討論 (要旨)

定例会最終日の本会議において、各会計令和4年度決算認定に対する採決に先だち、賛成・反対の討論が行われました。

議案第15号 令和4年度壬生町一般会計歳入歳出決算認定について



反対 日本を含む世界の平和が脅かされようとしている今、町民の皆さんが安心して暮らせる町政が求められるが、その責務を十分に果たしてきた決算と評価できないことから反対します。

(田部明男議員)



賛成 必要な施策を実施しながら、財政需要の対応に余力を残しており、執行された事業・取組によって確実に未来に向けて発展を遂げていることを高く評価できる決算となったことから賛成します。

(大島菊夫議員)

議案第16号 令和4年度壬生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

反対 多くの人が保険料を納められずに多額の不能欠損処分が生じたにもかかわらず、一般会計から繰入を十分に行わず、保険料をそのままにしている。被保険者の健康を守る制度として十分ではないことから反対します。

(田部明男議員)



賛成 収納率92.7%と高い収納率を維持していることや安定的な財源の確保に努める一方、将来の医療費削減に尽力し財政面の健全化、保険給付費の適正な管理に努めており、加入者の健康維持に積極的に取り組む姿勢が伺えることから賛成します。

(小川律男議員)

議案第18号 令和4年度壬生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

反対 決算の数値が高い低いではなく、国や県に対して補助金の増加に対する声を上げるべきである。安心して介護を託せる制度になっていないことから反対します。

(田部明男議員)



賛成 国・県からの財源の確保や、保険料の収納率向上に取り組みつつ、経常経費の抑制に努めており、適正な保険給付と健全な運営が図られていることから賛成します。

(楡井将太議員)

議案第19号 令和4年度壬生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

反対 生活困窮などで不納欠損処分をしなければならない事態そのものが本制度の本質的な弱点を露呈していると言える。高齢者の医療を守る制度になっていないことから反対します。

(田部明男議員)



賛成 保険料の収納率が被保険者の理解のもと99.7%と高い水準を維持し、後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の健康維持に向けた取り組みがされていることから賛成します。

(中川和典議員)

定例会概要

令和5年第4回定例会は、9月1日に招集され9月19日までの19日間の会期で開かれました。町長から提出された工事請負契約の締結2件、工事委託変更契約の締結が1件、財産の取得1件、人事案件2件、補正予算6件、未処分利益剰余金の処分2件、決算認定7件、報告4件が上程され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

契約

おもちゃ博物館の外壁等を改修

おもちゃ博物館長寿命化計画に基づき、適切な施設の維持管理を図っていくために、外壁塗装などの改修工事を行うものです。本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

おもちゃ博物館受変電設備(第3)等を改修

壬生町公園施設長寿命化計画に基づき、壬生町総合公園及び壬生町おもちゃ博物館の適切な維持管理を図っていくために、受変電設備(第3)等の改修工事を実施するものです。

本会議で審議の結果、全会一致により可決しました。

財産の取得

町内中学校で使用する超短投写プロジェクターを購入

メタバース活用教育推進事業のツールとして、幅広い分野で、より効果的なデジタ

人事案件

壬生町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

令和5年9月30日をもって任期満了となる、賀長勝彦氏(上稲葉)を選任(再任)することに同意しました。



人権擁護委員の推薦に適任の意見

令和5年12月31日をもって任期満了となる、賀長勝彦氏(上稲葉)を再任として推薦することに適任と意見を付しました。

令和5年度 補正予算 (令和5年9月定例会可決)

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な理由	
一般会計(第4号)	4億6千180万1千円	167億1千165万2千円	普通交付税の確定、並びに令和4年度決算に伴い財源の全体的な見直しと、施設の適正な管理のために緊急を要する修繕、職員の異動等による職員給与等の過不足額を計上したものの。 【歳入】 ・普通交付税 6,522万7千円 ・繰越金 4億4,542万9千円 【歳出】 ・本庁舎跡地活用検討事業 364万2千円 ・物価高騰対応援券配付事業 1,711万9千円 ・清掃センター管理運営事業 2,010万1千円 ・町債元金償還費 1億7,419万円	
特別会計	国民健康保険(第1号)	1億5,776万6千円	41億5,360万3千円	システム改修委託料の計上及び令和4年度の事業実績確定による精算額を計上したものの。 【歳入】 ・繰越金 1億3,253万8千円 【歳出】 ・賦課徴収費(システム改修委託料) 165万円
	奨学資金(第1号)	20万円	320万1千円	令和5年3月に寄付を受けたことにより、歳入予算の繰越金及び歳出の基金積立金を計上したものの。 【歳入】 ・繰越金 20万円
	介護保険事業(第1号)	2億8,155万7千円	37億1,357万1千円	令和4年度の事業実績が確定したことによる精算のための所要額を計上したものの。 【歳入】 ・繰越金 2億7,617万4千円 【歳出】 ・償還金 2億1,913万3千円
	後期高齢者医療(第1号)	398万5千円	5億7,162万2千円	職員給与費等に係る見込額を精査したほか、令和4年度の事業実績確定による精算額を計上したものの。 【歳入】 ・繰越金 397万1千円 【歳出】 ・広域連合納付金(徴収保険料) 272万2千円
下水道事業会計(第1号)	収益的支出 1,663万8千円 資本的支出 134万8千円	15億2,046万5千円 17億1,699万6千円	4月の人事異動に伴う職員給与費等の過不足額並びに水処理センターの機器の修繕や交付金の精査による返還金を計上したものの。	

令和5年9月壬生町議会定例会議決結果と賛否状況

※坂田昇一議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決結果	大山	小川	中川	榎井	後藤	田部	戸崎	遠藤	赤羽	小牧	玉田	田村	鈴木	大島	落合
			博	律男	和典	将太	節子	明男	泰秀	恭子	根信行	敦子	秀夫	正敏	理夫	菊夫	誠記
議案第1号	壬生町おもちゃ博物館外壁改修等工事請負契約の締結について (おもちゃ博物館の外壁塗装等の改修工事について、根本塗装株式会社と6,079万7千円で工事請負契約を締結することに議会の議決を求めるもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町おもちゃ博物館受変電設備(第3)等改修工事請負契約の締結について (おもちゃ博物館の受変電設備等の改修工事について、有限会社シバラエンジニアリングと7,346万9千円で工事請負契約を締結することに議会の議決を求めるもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	東武鉄道宇都宮線おもちゃのまち駅東西口エレベーター新設工事委託に関する変更契約の締結について (おもちゃのまち駅東西口エレベーター新設工事の契約内容について、委託期間の短縮及び契約金額の減額に伴う変更契約を締結することに議会の議決を求めるもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	財産の取得について (町内両中学校への「超短投写プロジェクター」の購入について、株式会社ヤマダデンキ小山営業所と1,303万3,020円で物品売買契約を締結することに議会の議決を求めるもの)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町固定資産評価審査委員会委員の選任について (賀長勝彦氏を選任することに議会の同意を求めるもの)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (賀長勝彦氏を推薦することに議会の意見を求めるもの)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和5年度壬生町一般会計補正予算(第4号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和5年度壬生町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和5年度壬生町奨学資金特別会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和5年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和5年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和5年度壬生町下水道事業会計補正予算(第1号)決議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和4年度壬生町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和4年度壬生町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和4年度壬生町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和4年度壬生町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和4年度壬生町奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和4年度壬生町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和4年度壬生町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和4年度壬生町下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和4年度壬生町下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

令和4年度決算の審査総括意見書（概要）



代表監査委員
熱田 幸一 氏



議会選出監査委員
玉田 秀夫 議員

いほど一般財源に余裕がある事をあらわす経常収支比率は、令和3年度より3・8ポイント上昇して82・4%となり一見悪化したかに思われませんが、3年度は地方交付税が臨時的に追加交付された影響が大きく、令和2年度と比較すれば5・4ポイント低くなっており、比較的安定した数値と言えます。また町税の徴収

率・収入額ともに前年度より増額しており、財政力指数についても令和3年度より0・031ポイント改善しているものの、引き続き厳しい状況であることには変わりないため、新たな自主財源を開拓するなど増収に向けた取組みの必要性について、意見を付したところです。

し、現在のところ経営状態は黒字を維持しておりますが、汚水処理費用がどの程度使用料で賄われているかを示す経費回収率が100%をやや下回っていることに加え、供用開始が早かった北部処理区の管渠更新など今後の経費増加に備えて、使用料金のあり方も検討すべき時期であると思われま

す。水道事業は町民生活はもとより産業活動の面においても不可欠な社会資本であり、また災害時のライフラインとしても重要な役割を担っていることから、万が一にも供給が滞ることの無いよう、基本理念である「良質な水の安定供給」を確実に遂行し質の高いサービスの提供に努め、下水道事業においては受益と負担との均衡を図るべく料金の変更も含めた経営戦略を打ち出し、住民のコンセンサスを得ることで持続性の高い経営を実現するよう求めます。

ものの、令和4年度は再びマイナスに転じており、是正改善を指摘すべき事項は特にありませんが、今後も緊張感を持って町の行財政を運営していただくようお願いいたします。

むすびに、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ日常に戻ったかのようですが、治療薬が開発されたわけでもなく依然不安は消えていません。また今夏の異常気象や各地で発生する災害、物価の高騰、加えて政府が異次元の対策を謳う少子化など課題は枚挙に暇がありませんが、それら全般に対応を求められてしまうのが地方自治体だと思います。各職員は更なる研鑽を積んで業務に精通し、役割を果たしてもらいたいと考えます。一方で厳しい社会情勢下ではあるものの、産業団地への企業誘致や区画整理事業の推進に伴う大型商業施設の進出による賑わいの創出、循環バスの運行や道の駅を利用した情報発信などまちづくりの充実には満足している部分も多く、今後も期待しております。さらにタブレットや電子決裁の導入によるペーパーレス化の実現、また要職への女性の登用などジェンダー平等への配慮も見られるなど、常に時代の流れを先読みして次世代に夢と希望を引き継げるような壬生町を現実できるよう鋭意業務に邁進するよう望むものです。

「令和4年度壬生町一般会計並びに特別会計決算に係る審査及び基金運用状況に係る審査」、「公営企業会計決算に係る審査」、「決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の審査」について、各会計の歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査は、いずれも地方自治法等に準拠して作成されており、決算計数についても関係諸帳簿、証書類と合致しており、予算執行に関する事務処理は概ね適正であると認められました。町の財政構造について、数値が低

水道事業会計においては、給水費用を給水収益のみで賄えている状態であり、経営成績、財政状態を見ましても安定した状態が維持されていることを確認いたしました。令和4年度は南部配水場の更新事業として旧管理棟解体や場内整備工事を実施しましたが、今後も重要給水施設配水管及び老朽管の更新事業など経費の増加が避けられないため、引き続き適正な資産の管理を図ることが求められます。また、公共下水道事業及び農業集落排水事業特別会計は令和2年度から公営企業会計へと移行

壬

生町の農業振興は

町長 競争力のある農業を推進すべく振興に取り組んでいます

Q&A

ここが聞きたい 一般質問



中川 和典 議員

受け手のあっせんなどを行って
います。

た評価結果は、翌年度の6・12月の勤勉手当及び1月の定期昇給に反映します。

職員の人事評価制度の目的及び評価結果の反映は

問 人事評価制度の目的を
伺う。

総務部長 人材育成、個人の
能力開発、意欲の向上、効率
的・効果的な行政運営、組
織の活性化を目的としていま
す。

問 人事評価の結果は、ど
のように反映されているか
伺う。

総務部長 各年度末に確定し

問 圃場整備の果たす役割
と町内の現状並びに今後の
展開について伺う。

町長 区画当たりの面積が拡大し、大型機械導入等で生産性が高まり、用排水路整備で水管理が合理的になります。これにより意欲ある担い手の確保等が期待をされます。平成29年度末で33・7%だった

整備率は、下稲葉地区着工後の令和4年度末には46・4%となりました。計画中の上稲葉地区、安塚・上長田地区についても早期着工を目指し、事業の推進をします。

問 新規就農者の育成・確保について、実施内容、実績を伺う。

町長 関係機関と連携し、研

問 遊休農地、耕作放棄地の状況、発生防止のために実施していることを伺う。

町長 令和4年は21・9haで、前年度比で1・5ha減少しました。農業委員会の現場調査に基づき、利用意向を確認し、



収穫間近の稲



二次元コードからご覧いただけます

Q&A

ここが聞きたい 一般質問

町

内各地 均衡のとれた経済発展を伺う

町長 第6次総合振興計画後期基本計画に基づき進めています



鈴木 理夫 議員

問 六美町北部土地区画整理事業の進捗状況は。

町長 現在53.8%の進捗状況となっております。都市計画道路おもちゃのまち下古山線及び六美東通りの一部が供用開始となりました。現在は中央へと移り、地区を縦断する都市計画道路六美吾妻線の整備を核としまして都市計画道路六美東通り、西通り及び雨水の流末となる第一調整池の整備や宅地の造成を進めています。

問 おもちゃのまち駅東西口エレベーター設置工事の現況は。

町長 東口、西口のエレベーター2基は壬生町が事業主体、中央のエレベーターは鉄道事業者が事業主体となっております。設置工事は全て完了し、各種検査等の諸手続き後10月1日に供用開始する予定です。

問 県道羽生田上蒲生線おもちゃのまち地内拡幅工事の現況は。

町長 本路線の整備区間は延長約2,000メートルで、本路線の整備が企業進出に伴う交通需要の増加対策と子どもたちの安全な通行を確保するため有効的な手立てと考えられることから、早期完成に向け積極的に用地取得に協力するなど県と一体となって取り組んでいきます。

問 旧壬生地区や安塚地区商店街の振興策はどのようか。

町長 空き店舗等を活用し店舗を開業する方に開業費の一部を補助するまちなか新規出店促進事業を活用し、6店舗が開業し、うち2店舗が壬生地区に開業しています。

有害鳥獣による農作物被害の現状と対策

問 被害の現状と捕獲の推移はどのようか。

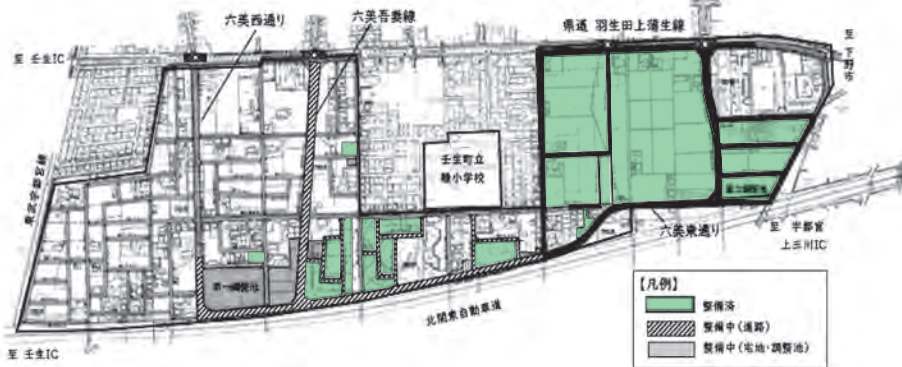
産業生活部長 令和4年度は被害額が61万8千円で、鹿5頭、ハクビシン4頭を捕獲しており、鹿、ハクビシンともに増加傾向です。

問 従来実施してきた被害防止対策とその課題は。

産業生活部長 県猟友会に加入している方に協力をいただき、わなやセンサーカメラの設置後、見回りや捕獲後の対応など数日間無報酬でご負担をいただいています。

問 捕獲の担い手である猟友会への支援は。

産業生活部長 有害鳥獣対策協議会において報酬の支払いが予算化されています。狩猟免許取得時の研修費用につきましても補助します。



六美町北部土地区画整理事業工事進捗状況図 (令和5年3月31日現在)



二次元コードからご覧いただけます

会

計年度任用職員への勤勉手当支給条例の提出の進捗は

総務部長

令和6年3月議会までの上程を目途に進めています

Q&A

ここが聞きたい 一般質問



田部 明男 議員

問 「正規職員と同じ仕事なのに給与が1級1号からスタートさせられる」という声があるがいかがか。

総務部長 会計年度任用職員に関しては、職務内容が補助的な意味合いで採用していると考えます。1年限りの契約で、次の年に再任用となれば経験値をプラスし号給アップをしています。

問 「仕事内容が変わらないが、勤務時間を減らされ、仕事が終わらず休みが取れない」という問題がある。町は、どう改善するか伺う。

総務課長 町のほうにはそのような苦情等は入っていませんが、そのような場合は、何らかの検討をしなくてはならないと考えています。

自転車ヘルメットに補助を

問 自転車用ヘルメット購入への補助制度を作る予定はあるか。

産業生活部長 町内における自転車の交通事故状況の把握に努め、周辺市町における補助制度の状況について調査研究していきます。

住宅リフォーム補助制度創設を

問 断熱化など、住宅リフォームは欠かせません。助成制度を新設してはいかかか。

建設部長 個人の財産に関する

る事業であることから、実施時の財源や町民のニーズを把握した上で、公平性の観点も含めて調査研究していきます。

問 他市町を調査し、町内の業者の仕事興しにも効果があることが明らかになったのではないか。

建設課長 一定の事業効果はあると思いますが、効果の範囲として難しいものがあるため、慎重に検討していきます。



二次元コードからご覧いただけます



自治労連が会計年度任用職員におこなったアンケート（用紙）

Q&A

ここが聞きたい

一般質問

軽

度の発達障がい児への支援拡充は

こども未来課長

就学前から心理士等による支援や学校との
情報連携を行っています



小牧 敦子 議員

サポートしています。

こども未来課長 子ども家庭総合支援拠点で、担当職員が各家庭からの相談を受けています。また、乳幼児健診への出張相談や保育園、幼稚園、小・中学校、栃木特別支援学校との定期的な意見交換等を実施して、対応しています。

難ですが、事前に指定福祉避難所ごとに受入れ対象者の調整を行うこと等により、指定福祉避難所への直接避難を促進する方針です。

福祉避難所への直接避難と支援者の負担軽減は

問 要支援者を支える民生委員や見守りネットの方々への負担軽減対策はどのようか。また、福祉専門職との連携はどのようか。

問 現在の町防災計画では、広域指定避難所から自力で福祉避難所へ移動する内容になっている。雨の夜道や余震が続く中の移動は困難であり、国は直接避難を勧めているが、町の考えはいかがか。

住民福祉部長 支援をしている方の意見を聞き、負担が大きい場合、どのような対応ができるか、研究等をしていきます。

こども未来課長 福祉専門職の方や医療関係者等の意見を取り入れ、連携・協力に向けた取組を行っています。

問 国の調査では、公立小中学校において、認定の有無に関わらず、発達支援や配慮が必要な児童生徒の割合は8・8%であった。本町の割合はどのようか。

学校教育課長 令和5年度の発達障がいの全校生徒に対する割合は、7・3%です。

問 学童保育支援員が発達支援に関する相談をしたり助言を受ける仕組みはどのようか。また、各施設で業務されているそれぞれの専門職を一人の方に担っている子ども達を見守ることはできないのか。

住民福祉部長 放課後児童支援員に対して、こども未来課や関係機関と情報を共有し、

住民福祉部長 現時点では困

壬生町の全児童生徒の内、発達障がい児生徒の割合7.3%

不登校の児童生徒の内、発達障がいを持つ子どもの人数

令和5年7月現在

	小学校	中学校	計
不登校の児童生徒数	14人	25人	39人
内、発達障がい児数	9人	19人	28人

一般質問に対する学校教育課の答弁より



二次元コードからご覧いただけます

地

域課題解決EV活用を

総務部長

国が示す2050カーボンニュートラルの実現に
むけて積極的に電気自動車を導入します

Q&A

ここが聞きたい 一般質問



落合 誠記 議員

太陽光発電施設開発 を問う

問 ①5条森林の伐採や新たに森林の取得した際の届け出は適宜にされているか。
②施設開発に伴う周辺住民からの苦情は。
③開発をめぐり本町は「指導指針」にとどまるが。

DX推進の留意点を 問う

問 ①ユーザー(町民)の視点への配慮を問う。
②業務処理方法変更への対応を問う。
③住民周知における情報統制を問う。
④導入後の評価と施策への連動性を問う。

問 ①本町のEV車の導入状況と今後の方向性は。
②V2Hの導入に対する見解を問う。
③既存の災害協定に加えて更なる締結を検討すべきだが。
④小学生を対象にした、体験型環境事業の開催を求める。

※V2Hは電気自動車の蓄電池から電力を取り出して住宅で使用するシステム

総務部長 ①所有する電気自

動車は1台です。公用車更新に合わせ、導入していく予定です。
②現段階で早期導入は考えていません。他市町の事例などを研究していきます。
③学校現場の意見・要望等も踏まえて検討していきます。

総務課長 ③環境、災害対応の面で非常に効果が高いと思いますので企業とのマッチングを進めていき、また他市町の事例なども研究していきます。

産業生活部長 ①制度の周知及びパトロールを実施しておりますので、無許可で伐採を行い施設が設置されることはないと考えています。
②雑草の繁茂や、木の枝等がセンサーに反応し、警報音が鳴り続けるとの苦情がありました。

③県策定の指導指針に基づき、適切な事業実施を指導していきます。現状を把握し、他市町の動向を注視しながら、条例の必要性について研究していきます。

総務部長 ①アプリの基本操作を習得するスマートフォン講座の拡充など、ソフト面での環境整備、充実を図っていくことも重要と考えます。
②最適な処理方法を導入することで、行政全般により波及効果が得られるよう検討を重ねていきます。

③複数のチェック機能が確保されていることから、適正な情報統制が図られていると考えます。
④PDCAの徹底やKPI



EV車の災害支援事例

(重要業績評価)の制定、さらには各部課の組織目標と連動させ、より明確に評価がなされ、施策に反映できるように努めていきます。



二次元コードからご覧いただけます

閉会中の継続調査

定例会初日の本会議において、委員長が調査結果の報告をしました。

教育民生 常任委員会

小中学校における性教育の現状と 課題について

学校における性教育の取組みについて調査しました。

▼小学校では

●低学年は自分を大切にし自分の身を守ることをテーマに学習活動を実施。

●中学年は2次性徴と人の誕生を扱い命の尊さを教育。

●高学年は感染症予防を通して自分や周囲の人を守ることを教育。

●月経教育を体育館で男女別に行い、生理用品の使い方や月経随伴症状等を指導。

▼中学校では

●保健体育・理科・道徳・特別活動等、学校教育全体で性教育を実施。

●「大切な心と体を守るための思春期講座」で、性暴力被害も含めた自分と相手を守るものや、距離感を考えて行動することなどを指導。

●万一被害に遭って、誰にも話せない場合に一人で悩まないようテレフォンサービス『とちエール』のパンフレットを配布。

●「子育て・親育ち講座」を通して、子どもとの向き合い方を学ぶ機会を設けたり、家庭で話すための



に講座の感想・アンケート結果等を共有。

▼調査を終えて

●性教育を以前より事細かに実施しているが、妊娠してしまった場合の教育にも力を入れていただきたい。

●生理がつかなくても休まず我慢している生徒がいるので、「休んでも内申書に響かないように」との国の通達を速やかに周知していただきたい。

建設経済 常任委員会

町営住宅の維持管理について

壬生町でひばりヶ丘団地と下台団地の維持管理方法や現在の状況、今後の展望について調査しました。

▼町営住宅管理事業とは

●事業目的…低廉な家賃で住宅を供給するために整備された事業

●概要…ひばりヶ丘団地、下台団地の2団地で、合計8棟、136戸

▼現状

令和4年度分	数 値	主な調査内容
予 算	1,578万円	事業担当課職員の給料費、手当、共済費等を除く
使用料収入	2,235万円	収納率98%
滞納繰越額	1,068万円	納付指導や他部署連携により10年で約1,200万円を圧縮
経 過 年 数	46～52年	耐火構造耐用年限70年の2/3を経過し、建替え検討の時期にある
入 居 率	79.4%	令和5年4月1日現在、減少傾向
応募状況	0.05倍	令和2年度～令和4年度

▼調査を終えて

●耐火構造耐用年限が残り20年ほどであり、建て替えを検討する時期に来ているが、1部屋あたりの家賃水準と、空室が増え続けていることに鑑みると常設は難しい。民間住宅に家賃補助する形など検討してほしい。



委員長報告は二次元コードまたは町公式ウェブサイト内の議会ページからご覧いただけます。

委員会 研修レポート

7月6日と7日の2日間 議会運営委員会・議会広報特別委員会
が合同により、行政視察研修を実施しました。

今年度の研修テーマは、議会と住民との懇談会に関する現状と対応や、議会広報紙の編集等についてであり、福島県石川町では、議会報告と住民の意見を聞く会について、栃木県高根沢町では、議会報告会カフェ・ド・ギカイについて具体的な運営方法や周知方法等の取組みを学んできました。

議会広報特別委員会

広聴と広報が連動した 議会広報誌の研究

福島県石川町

委員長	戸崎 泰秀
副委員長	小川 律男
委員	大山 博
〃	中川 和典
〃	榎井 将太

福島県石川町議会にて、広報づくりの視察研修を行いました。研修の目的は、住民からのご意見を、広報誌へ反映する過程を学ぶことです。

石川町議会は、議員14人を3班に分けて、年に1回3カ所ですべて「議会報告と住民の意見を聞く会」を開催しています。会は、それぞれ、商工団体、消防団、単位自治会や子育て支援センターの利用者などに絞り込んで、意見を出しやすくしています。そこで集められた意見を総括して今後の対応を決定します。意見の内容によって、議会から要望を出したり、議員の一般質問で取り上げたりと対応は様々です。とりわけ、議員の一般質問での取り上げは、問題を調査研究

して執行部に質す過程で、住民からの地域的・専門的な意見を反映しやすく、質問内容が載る点で、一般質問の紙面において広聴と広報が有機的に機能していると言えます。

議会広報の編集は、ともすると紙面上だけで編集が完結してしまします。広聴から始まり、その声を反映させるまでの過程を広報誌に載せることで、住民に寄り添った濃厚な内容となることを学びました。



議会運営委員会

議会報告会について

栃木県高根沢町

委員長	田村 正敏
副委員長	落合 誠記
委員	玉田 秀夫
〃	戸崎 泰秀
〃	大山 博
〃	小川 律男

議会運営委員会では、栃木県高根沢町の議会報告会開催状況を視察しました。

高根沢町では、平成24年から議会報告会を始め、現在まで約20回開催しており、毎回好評を得ています。特に、平成31年の第10回議会報告会からは、それまでの開催方法を見直し、「カフェ・ド・ギカイ」というサブタイトルを付け、カフェでお茶を飲みながら気軽に話せるような雰囲気を目指し、同時に内容についても希望のあった地域へテーマを絞って開催することによって、より中身の濃い議論が出来るようになったということでした。

さらにポイントとして説明を受けたのは、「広報より広聴を重視する」ことです。もともと議会報告会は文字通り議会で行われ何が決められたかを報告する場で

したが、そうすると話が議会からの一方通行になりがちです。町民は、話を聞いて欲しい、質問に答えて欲しいという方が多く、ならば広聴に絞って開催したほうが良いというわけですね。

現在同様の議会と住民との懇談会「みぶざかいカフェ」の開催を控える我々にとって、まさにタイムリーかつ有用な話を聞くことが出来ました。我々壬生町議会も、カフェのような雰囲気の皆様のお越しを楽しみにお待ちしております。



決算審議

定例会概要

総括意見書

一般質問

委員会活動

トピックス

TOWN VOICE

町民の方の声を
紹介します

英 語力アップの為の英検の無料受験や、小中学生1人1台タブレットの普及が早く行われた事によって、授業の幅が広がったと思うので、教育に力を多く注いでいるなど感じています。

壬生町の
ここが好き



こんな町に
なってほしい

いづか はると
飯塚 晴斗 さん
(南犬飼中野球部で活躍中)

気 軽に行けるスポーツ施設や自習できるスペースが出来ると良いと思います。

議会広報特別委員会



委員長

小川副委員長 榎井委員 戸崎委員長 中川委員 大山委員

「壬生ふるさとまつり」 に参加

8月26日、町総合公園陸上競技場において令和元年以来4年ぶりの「壬生ふるさとまつり」が開催されました。約3万人の来場者で賑わい、「かんばん音頭」には議員も参加し、たくさんの踊り手の方々とともに汗を流しました。

また、約2,000発の打ち上げ花火が夜空に浮かび壮大な迫力と美しさに、会場からはたくさんの歓声と拍手が起こっていました。



ようやく過ごしやすい時期となりましたが、今年の夏は暑かったですね。
私は屋外での作業が多く、毎日、熱中症になる危険と隣り合わせでした。十分な水分補給と早朝の作業により何とか乗り切ることができました。
国連のグテーレス事務総長が会見で「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と語りました。
事実、世界各地で極度の熱波や大規模な洪水が発生し、日本でも、災害級の暑さが続き、豪雨が各地で発生しました。
早急に効果的な対策が必要です。
未来の世代に美しい環境を残すために、今できることを積極的に実践し、地球の温度上昇を食い止めるために努力しましょう。

中川 和典

編集後記